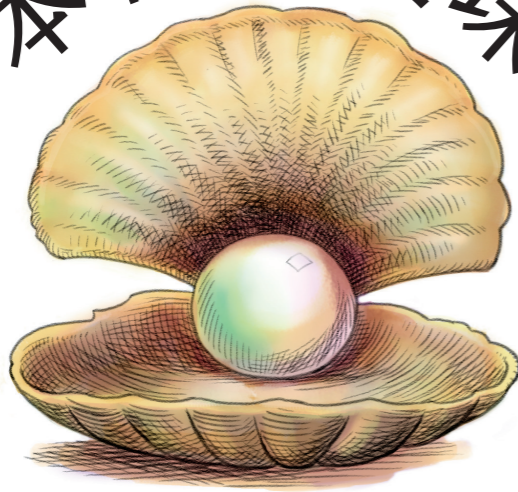


本物の真珠



エイミー・M・モーガン
本当にあったお話をもとに書かれました。

「小さな、簡単なことによって大いなることが成しとげられるのである。」
(アルマ 37:6)

ジェット・パール・ステュアー
トは、かぶっていたボンネット(女の人がかぶる帽子)をぬぐと、玄関先のポーチにすわっていたお父さんのとりに、ぴよんとすわりました。そして「パールってなあに」とたずねました。

8才のジェットは、真珠(パール)が何かは知っていましたが、パールという自分の名前の意味をお父さんから聞くのが大好きだったので、いつものように、お父さんは真珠がどうやってカキのからの中で一つ一つそをを重ねて成長して、明るくかがやく宝石になるかを説明してくれました。

「真珠は君のようにかがやいているよ、お父さんの小さなジェット・パール」とほほえみながら言いました。ジェットはお父さんにほほえみ返しました。お父さんにとって真珠のようとうとい自分が大好きでした。

そのばんの夕飯のとき、お父さんがジェットに、大切な質問があると言いました。

「ジェットは小さいときから、音楽に対してとても特別なものを持っていたね。」「ピアノを習いたいかい?」

ジェットは目を丸くしました。「ええ、習いたいわ。」

「そのためには、遠くまで行って、しばらく先生のところにとまらなければならないということよ」とお母さんが言いました。「ここ、ミルバーンには教えらる人がいないからね。」

ジェットの顔からえがおが消えました。1日以上家族とはなれたことはなかつ

ジェットはピアノをひきたいとおも思いました。でも、家族とはなれて一人で行けるのでしょうか。

たのです。しかも、遠くに行くなんて……。

「でも、たとえむずかしいことでも、才能をのばすのは大切なことだよ」とお父さんが言いました。

お母さんがうなずきながら「一生懸命努力しなければいけないわ」と言いました。

ジェットは音楽が大好きでした。そして、ずっとピアノをひきたいと思ってきたのです。ゆっくりですが、ジェットの顔にえがおがもどってきました。「わたし、これからピアノをひくんだわ。」

でも、次の日の朝になり、お父さんが馬車に馬をつけているのを見ながら、わくわくした気持ちは少しも感じませんでした。今日はこわい気持ちしかありませんでした。そんなに早く出かけることになるとは思っていなかったのです。

ジェットはゆっくりと馬車に乗りこみ、お父さんのとりにすわりました。

「用意はいいかい、ジェット・パール」とお父さんが聞きました。

用意ができているとは思いませんでしたが、ジェットはうなずきました。

馬車が進み出しました。

しばらくすると、お父さんがジェットをのぞきこみました。「お父さんとわたしが、ジェットのことをどんなにほこりに思っているか知っているかい。」

ジェットはうなずきました。「でも、わたしに家の手伝いをしてほしいときはどうするの?」

お父さんはにっこりしました。「ジェットに会えないのはさびしいけれど、これは君にしかできないことなんだよ。天のお父様があたえてくださったまものをのぼすことによって、天のお父様に仕えることができるんだよ。」

ジェットはそんなふう考えたことはありませんでした。自分の音楽の才能は、本当に天のお父様からのまものなののでしょうか。

お父さんは続けて言いました。「時間はかかるだろうが、少しずつピアノがひけるようになるだろう。そうしたら、たくさんの人に仕えることができるようになるんだよ。」

ジェットは、おそれの気持ちかやわらいでいくのを感じました。自分はピアノを習って、そして天のお父様に仕えるのだと思えました。こわい気もするけれど、きっと天のお父様が助けてくださると知っていました。

お父さんがウィンクしました。「そをを重ねて、お父さんの小さなパールが明るく、かがやいてきたな。」

お父さんの言葉のとおり、ジェットは少しずつピアノをひけるようになりました。オルガンもひけるようになりました。

2、3か月して、ジェットは家にもどりました。その日曜日、ジェットはミルバーンの最初のオルガン奏者になりました。ジェットがひけるようにと地域が力を合



わせて買ってくれた大きなオルガンの前にすわったとき、ジェットの心臓の鼓動が速くなりました。オルガンがあまりにもきれいなので、心配でふれられないと思っただけでした。けんばんに指をとどかせるには、いすの上に本を置いてその上にすわらなければなりません。ジェットは深くきゆうしてから、ひき

はじめました。オルガンの音が部屋中にゆたかに美しくひびきわたりました。ジェットはこっそりと、集まった人々を見ました。人々はにっこりしながら歌っていました。ジェットもにっこりしました。ジェットのえんそうは完璧とはほど遠いものでしたが、自分の才能を使って奉仕することができました。

お父さんの言葉を思い出しました。「真珠は君のようにかがやいているよ、ジェット・パール。」
天のお父様は、少しずつ、そをを重ねるように、ジェットを本物の真珠にしてくださいました。■
このお話を書いた人はアメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。